



安倍晴明社  
MAP 1 C-3

**パワースポット・安倍晴明社**

龍神村を流れる丹生川沿いにある殿原に安倍晴明社があります。平安時代の天才陰陽師、安倍晴明を祀る「ちんまり」とした神社ですが、パワースポットとして人気を集めています。安倍晴明と龍神村には地名伝説にかかわる話が残っています。この地には往時千年の功を経た神通力を持つ大蛇が住み、人々に崇められていました。ところが、あるときこの地を訪れた源頼氏に大蛇は美女に変身して魅入り、頼氏は瀕死の状態になります。そこに熊野詣途中の安倍晴明が訪れ、法

力をもって三日三晩戦い、ついに大蛇は屈して昇天しました。以来の地は龍神と呼ばれ、大蛇は龍神として人々の深い尊崇を受けたということです。

**お万と平維盛伝説**

平維盛は平重盛の嫡男で清盛の嫡孫。一の谷の戦い後に戦線を離脱して龍神の小森谷溪谷に隠れ住んだといわれます。平家の再興を願う小森谷でひっそりと暮らしていた維盛は、小森に住むお万という娘と恋仲になります。しかし壇ノ浦の戦いで平家滅亡を知り、護摩壇山で平家の行く末を占いました。占いは凶と出て絶望した維盛は小森谷を出て那智の海に入水したと伝わり、それを聞いた恋人お万は小森谷で白粉を水に流し、滝に紅を溶かしたのち淵に身を投げました。小森谷溪谷には、維盛が住

**天誅倉**

龍神村の小又川温泉へと向かう道筋に天誅倉と呼ばれる小さな土蔵が建っています。幕末、尊王攘夷を掲げた天誅組は奈良の五條で決起しましたが、大義名分だった孝明天皇の大和行幸が中止になることにより暴徒として追撃され、十津川に退却。そのなかの水郡善之祐ら河内勢18名は、組を脱退して紀州にのり、龍神の小又川で自首しました。その折幽閉されたのが天誅倉で、現在では天誅組の資料館として公開され、柱に血書した水郡の辞世の歌の複製も見ることが出来ます。



**国道の駅「龍神」** MAP 1 B-3  
(ウッディプラザ木族館) MAP 5 A-2  
日高川に臨む国道371号の道の駅で、龍をイメージした建物が印象的です。  
☎0739-79-0567  
田辺市龍神村龍神170-3 営 9:00~17:00(7月~10月は延長あり)、12月~3月は9:00~16:00 休 4月~11月無休、12月~3月水曜、12月29日~1月1日



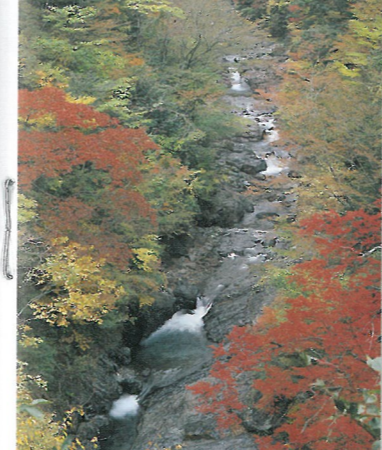
**国道の駅「水の郷日高川 龍游」** MAP 1 C-2  
国道424号と425号が交わる場所にあり、目の前に日高川の水面が望めます。  
☎0739-77-0380  
田辺市龍神村福井511 営 平日/9:00~17:00 日・祝/8:00~18:00 休 12月~3月の水曜、12月30日~1月1日



**国道の駅「田辺市龍神ごまさんスカイタワー」** MAP 1 A-3  
高野龍神スカイラインの中間点に位置し、四季折々の風景が楽しめます。  
☎0739-79-0622  
田辺市龍神村龍神1020-6 営 平日/9:30~17:00 土・日・祝/9:00~17:00 休 12月1日~3月31日



天誅倉 MAP 1 B-3 MAP 5 C-2



小森谷溪谷 MAP 1 A-3/B-3



高野龍神スカイライン MAP 1 A-3/B-3

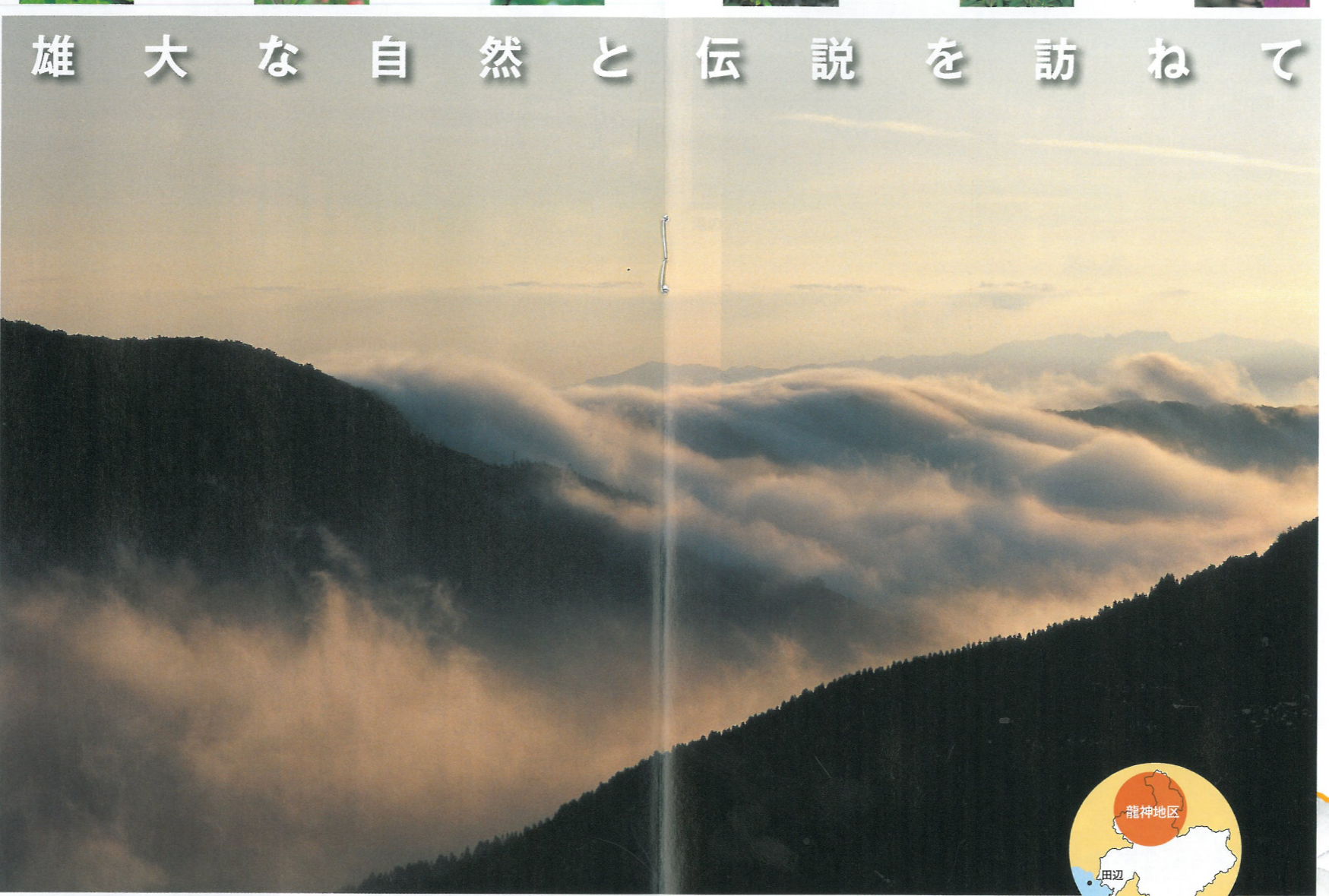


冬の護摩壇山



護摩壇山遊歩道

# 高野龍神スカイラインを旅する



## 雄大な自然と伝説を訪ねて

真言密教の聖地高野山と美人の湯として名高い龍神温泉を結び、1000mを超す山々の稜線に沿って縦走する快適な道があります。天空の道高野龍神スカイラインです。  
霊峰高野山から龍神温泉へ一帯を中心とした広大なエリアは、高野龍神国定公園に指定され、国定公園内を南北に走るスカイラインの両脇にはブナやミズナラ、カエデなどの落葉広葉樹林が広がり、護摩壇山山頂近くの田辺市龍神ごまさんスカイタワーをはじめ各所にある展望台からは、重なりあう紀伊山地の山並みを見晴らすことができます。春のシャクナゲ、初夏のアジサイ、冬には樹氷と四季折々の美しさに心を打たれます。なかでも、広葉樹林のキャンパ

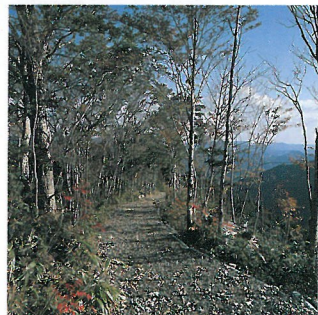
スが頂から麓まで鮮やかな赤や黄に染まる見事な秋の風景は、息を飲んでしまっほじ感動的です。  
また、護摩壇山周辺には、平維盛とお万の悲話や、陰陽師安倍晴明などにまつわる数々の伝説が残され、語り継がれています。  
弘法大師が開いたとされる龍神温泉に泊まって名湯を堪能したら、スカイラインを走って聖地高野山へと向かいます。伝説に思いを馳せ、車窓に流れる景色を楽しみ、約1時間の爽快なドライブで高野山に着きます。  
温泉と世界遺産、雄大な紀伊山地の自然、旅の喜びがたっぷり詰まった旅になります。



根本大塔/高野山

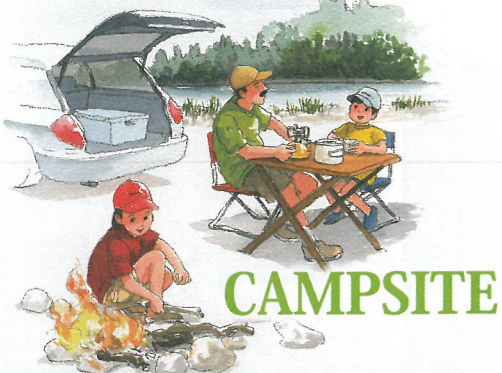


新緑の中を歩く



護摩壇山遊歩道





## CAMPSITE



MAP 1 C-3

### 丹生ヤマセミの郷キャンプ場

通年※管理棟は毎週火曜日定休(祝日の場合は翌日) 11月～3月は土・日・祝日のみ営業  
田辺市龍神村丹生ノ川275-2  
●コテージ/7棟=40名[6人用×6棟・4人用(バリアフリー)×1棟] ●テントサイト/25張 ●宿泊施設(旧校舎)/54名  
●丹生ヤマセミ温泉館(管理棟) ●炊事棟 ●温水シャワー棟  
●トイレ2ヶ所(水洗) ☎0739-78-2616



### 福井キャンプ場

通年 田辺市龍神村福井1086  
●テントサイト15張 ☎0739-77-0455



### 宮代オートキャンプ場

4月～10月 田辺市龍神村宮代620  
●ログキャビン/8棟=36名  
●オートキャンプサイト/25区画  
●広場テントサイト/20張 ☎0739-78-8080



### 丹生ヤマセミ温泉館

MAP 1 C-3  
☎ 11:00～20:00(11月1日～3月31日は～18:00、土・日・祝日のみの営業) ☎ 火曜定休(祝日の場合翌日) 田辺市龍神村丹生ノ川275-2 ☎0739-78-2616



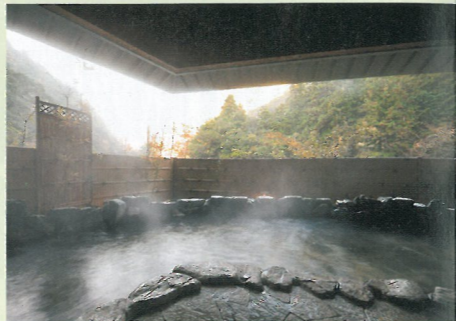
### 季楽里龍神大浴場

MAP 5 A-2  
☎ 11:00～20:00 ☎ 無休 田辺市龍神村龍神189 ☎0739-79-0331



### がまの湯

MAP 1 B-2  
☎ 13:00～20:00(土・日・祝日は10:00～) ☎ 月曜定休(祝日の場合翌日) 冬季休業あり 田辺市龍神村龍神189 ☎0739-79-0331



### 龍神温泉元湯

MAP 5 B-1  
☎ 7:00～21:00 ☎ 無休 田辺市龍神村龍神37 ☎0739-79-0726



龍神街道に沿って紀州藩ゆかりの老舗宿も残る

# 日本三美人の湯

# 龍神温泉



## 効能は、温泉美人になれること

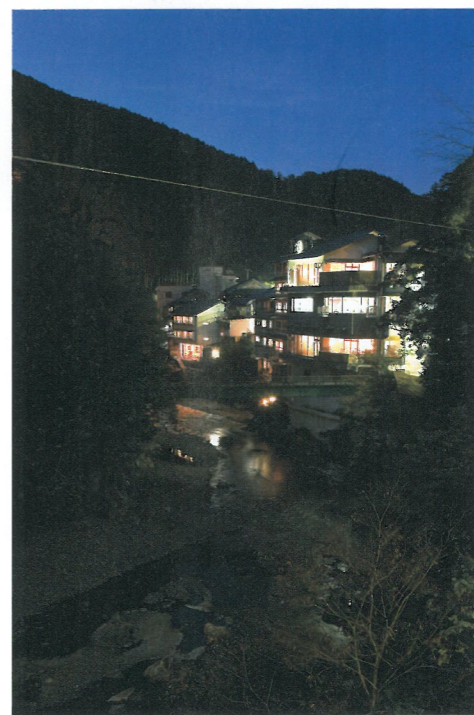
### 龍神温泉の歴史

日高川源流近くの山あいに湧く龍神温泉は、かつて秘境の温泉といわれました。いまでは高野龍神スカイラインで高野山と結ばれ便利になりましたが、早朝の朝もやの中で見る静かな温泉街に秘境の面影が色濃く残っています。

龍神温泉は修験道の開祖役行者が発見し、弘法大師が開湯したとされる長い歴史を持つ温泉です。江戸時代には紀州藩の別荘温泉地としても栄えました。大正から昭和にかけて書き継がれた中里介山の長編時代小説『大菩薩峠』によつて、龍神温泉の名は全国に知られるようになった。

### 弘法大師にまつわる伝説

龍神温泉は約1300年前、役行者が修行中にこの地を訪れて、煙が上がる地を錫杖で突いて発見したといわれています。その100年ほど後の弘仁年間に弘法大



師が難陀龍王の夢のお告げで浴場を開いたことから、龍神温泉と名付けられましたと伝わります。龍神温泉街を見下ろす高台にある温泉寺は、弘法大師が温

### 徳川家の別荘温泉地

龍神温泉には徳川藩主の宿と藩主に随行した家臣の泊まった宿が今も残っています。龍神温泉は紀州徳川家初代藩主頼宣公のお気に入りの温泉で、藩主専用の御殿を設け、浴室を整備したといわれています。また、旅館の税を免除にするなど保護策をとつて藩主の別荘地としました。以後、紀州徳川藩代々の藩主の入湯と保養に使われました。和歌山城下から龍神まで藩主が通った道は龍神街道と呼ばれますが、現在の龍神街道とは違っているとのこと。



MAP 1 B-3 MAP 5 B-1/B-2

## アウトドアライフを満喫

龍神村の面積の70%以上を標高500m以上の山が占めています。紀州の小森谷は日高川の源流にあたり、清流と山々の織り成す四季折々の魅力がそこにあります。春の山菜摘み、夏には溪流でアユやアマゴ釣り、秋の紅葉、冬には樹氷、龍神村はアウトドアライフの最高のステージです。

龍神村にはアウトドアライフを満喫できる施設も各所にあります。廃校

を利用した宿泊施設のある「丹生ヤマセミの郷キャンプ場」には丹生ノ川温泉を引く丹生ヤマセミ温泉館もあります。龍神村のほぼ中央、龍神温泉まで車で10分ほどの日高川沿いにある宮代オートキャンプ場はウッディなキャンピングも人気です。すぐ近くに日高川が流れる清涼感たっぷりの福井キャンプ場。川遊びや山並みを背に河原でバーベキューが楽しめます。買い物も便利なキャンプ場で



## 風土FOOD

### 【柚べし、里芋焼酎、ジビエ料理】

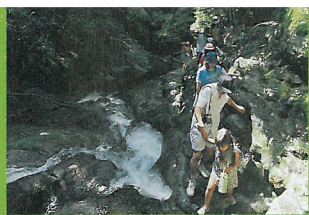
山の自然たっぷりの龍神村で育った品々は素材でやさしい味わい。特産の柚を使った柚べしは柚の中身をくりぬいて、中に味噌などを詰めて乾燥させたもので酒の肴やご飯にもぴったりです。江戸時代以前からの料理で、今も龍神村で製法が受け継がれています。新しい製品として売り出し中なのは「里芋焼酎」です。寒暖の差が激しい龍神村の風土が生み出した甘くて、粘りのある無農薬栽培の里芋を使ったプレミアムな品です。イノシシ、シカなどのジビエ料理も名物です。



### 日本三美人の湯

龍神温泉は、島根県の湯の川温泉、群馬県の川中温泉とともに日本三美人の湯に数えられます。泉質はナトリウム炭酸水素塩泉(重曹泉)で泉温は48℃。入浴すると肌がツルツル、しっとりする、化粧水いらずの湯です。それだけでなく、良く温まる湯なので、冷え性





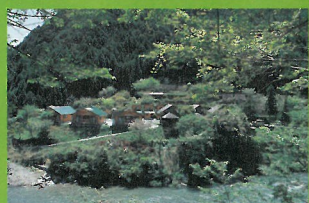
**山岳案内・山里体験ほか**  
熊野百間溪谷自然学校  
自然体験、環境教育プログラム、各種キャンプ、エコツアー等。まずはお電話でお問い合わせください。  
〒田辺市鮎川597-59  
☎0739-49-0434



**カモン館 MAP 1 D-2**  
営 10:00~16:00 休 水・土・日曜  
〒田辺市鮎川597  
☎0739-49-0398



**百間山溪谷キャンプ村 MAP 1 E-3**  
営 4月~10月 / ●チェックイン13:00~16:00まで / ●チェックアウト11:00まで  
〒和歌山県田辺市熊野339  
☎0739-48-0301  
(大塔行政局産業建設課)



**大塔青少年旅行村 MAP 1 D-3**  
営 4月~10月 / ●チェックイン13:00~16:00まで / ●アウト10:00まで  
〒和歌山県田辺市下川下1299  
☎お問合せ専用:0739-49-0234 / 管理事務所:0739-63-0133

大塔観光協会 ☎0739-49-0644  
大塔行政局 ☎0739-48-0301

あまの 雨乞の滝



かやの滝



いぬおち 犬落の滝



姿に見え、「乙女の寝顔」と呼ばれることから名づけられました。大自然に囲まれたいで湯でんびりするのには、最高のリフレッシュタイムです。

# 百間山溪谷・富里温泉を巡る



いぬおち 半作嶺(乙女の寝顔) MAP 1 D-3

森と清流が四季を映す溪谷は訪ねるものの心と体を癒してくれます。深い森に覆われた紀伊山地には美しい溪谷が多数ありますが、なかでも自然散策スポットとして人気が高いのは南紀の秘境とも呼ばれる百間山溪谷です。百間山溪谷は果無山脈北東麓を源流にする日置川上流にあり、深き原生林に覆われた約3kmにわたる溪谷には、罅穴や奇岩、かやの滝、雨乞の滝などの大小の滝があり、マイナスイオン100%の別天地です。溪谷沿いには健脚向きと一般向きのコースがあり、森林浴を楽しみながらのトレッキングが楽しめます。自然に恵まれた百間山溪谷周辺には、アウトドアライフの拠点もあります。溪谷のすぐそばには設備が整った「百間山溪谷キャンプ村」、国道371号沿いの富里地区には三方を日置川に囲まれ、カヌーの拠点にもなる大塔青少年旅行村があります。また、手作りカヌーにチャレンジできる「カヌー工房」や周囲の自然から学ぶ「熊野百間自然学校」のさまざまな体験プログラムも注目です。この地を案内してくれる語り部もいますので、大塔観光協会に問い合わせてください。

自然散策を楽しんだら、温泉でのんびりしたいものです。大塔青少年旅行村のほど近くに富里温泉「乙女の湯」があります。地下1300mから湧出するナトリウムイオンを多量に含む療養泉です。乙女の湯の名は半作嶺が遠くから見ると女性の



清らかな流れと緑濃い山はカヌーや釣りなどネイチャーアクティビティの舞台

## 風土FOOD【川魚料理】

大塔は溪流釣りのメッカです。鮎、希少なアマゴや合川ダム湖では鯉やウナギ、ヘラブナも釣れます。清流にすむ臭みのない川魚を大塔の大自然とともに味わいたいものです。

## 【もちつかぬ里の「ぼうり」】

皮が付いた里芋の親芋をだしで煮込み、そのまま食べるという旧大塔村に伝わる郷土料理です。大塔では正月に餅のかわりに「ぼうり」を食べますが、これは南北朝の時代に大塔宮護良親王が熊野落ちしたことに由来します。大塔宮は山伏に変装して落ち延び、大塔の鮎川地区の住民に餅をもらえないかと頼みました。しかし、「山伏姿の者には一切物を施したり便宜をはかるな」との布告が出されていたためどの家でも断られました。のちにその山伏姿の者が大塔の宮であったことを知った人々は無礼を詫言するために正月に餅をつかなくなったとのことです。



あまの 合川ダム MAP 1 E-3



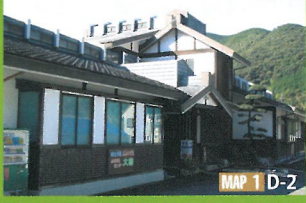
あまの 安川溪谷 MAP 1 D-4



**カヌー工房 MAP 1 D-3**  
インストラクターの指導で本格的なカナディアンカヌーを作成します。材料及び主な道具類は主催者で準備します。材料は全て地元産木材(杉、桧)でFRP加工を施します。詳しくはお問い合わせください。  
☎0739-48-0301  
(大塔行政局 産業建設課)



**大塔歴史民俗資料館 MAP 1 D-3**  
旧大塔村の歴史的遺産と伝統文化の中で培われた、民具の保存・展示を行っています。先人たちの暮らしが実物でみられ、ひとつひとつに深い味わいを感じることが出来ます。(要予約)  
☎0739-48-0212(大塔教育事務所)



**道の駅ふるさとセンター大塔**  
営 9:00~17:45(※トイレ・駐車場・公衆電話は24時間利用できます。)  
休 火曜日(※祝祭日は営業)  
〒和歌山県田辺市鮎川1000  
☎0739-49-0143



**富里温泉「乙女の湯」 MAP 1 D-3**  
営 夏季:月~土 15:00~21:00/13:00~21:00 (日・祝祭日・お盆期間 8/12~15)  
冬季:月~土 15:00~20:00/13:00~20:00 (日・祝祭日・お正月 1/1~3)  
休 毎週木曜日  
〒和歌山県田辺市下川下982  
☎0739-63-0126



**乙女の市 MAP 1 D-3**  
営 毎週日曜日、「とみきと交流館」にて開催 午前10時~午後3時頃(売切れ次第閉店)  
〒和歌山県田辺市下川下982  
☎0739-63-0126(乙女の湯)





紀州田辺梅林 MAP 1 D-2

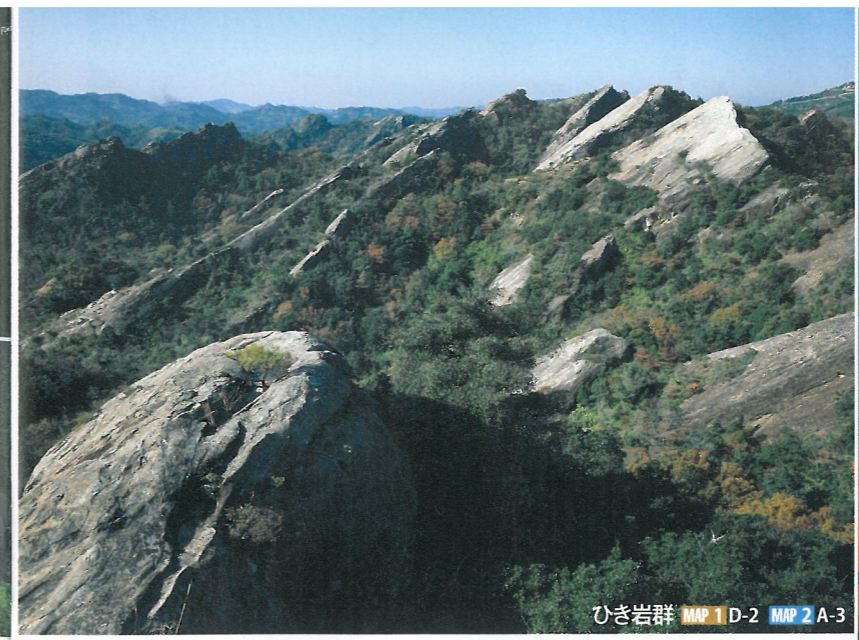


奇絶峡 MAP 1 D-2

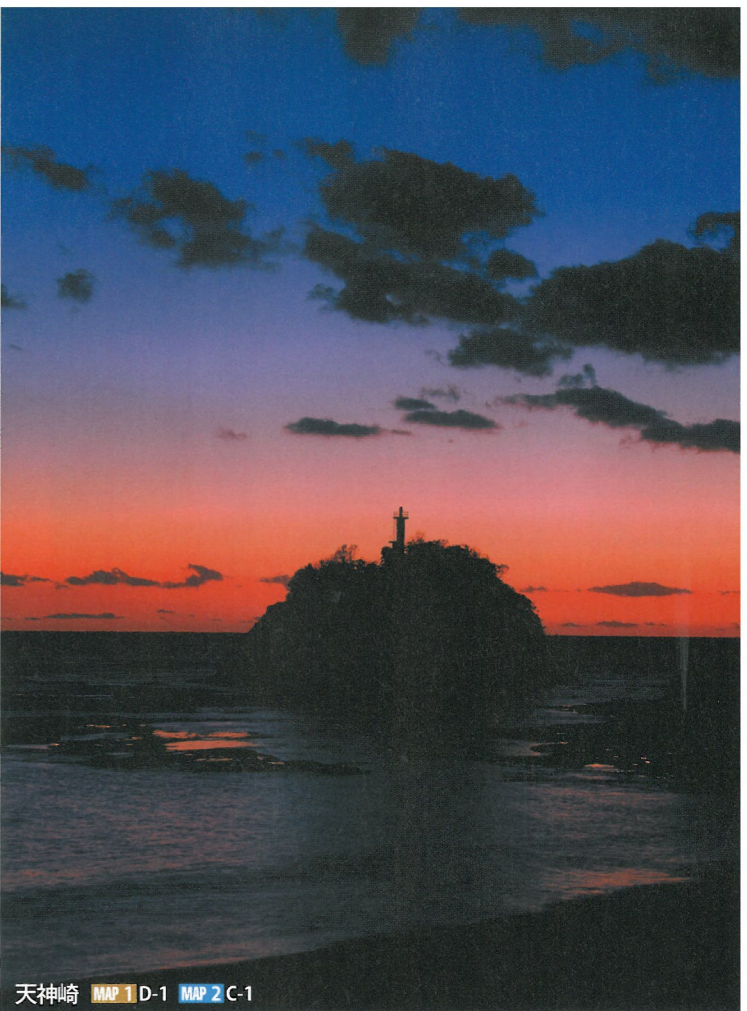


不動(赤城)の滝

磨崖三尊大石仏



ひき岩群 MAP 1 D-2 MAP 2 A-3



天神崎 MAP 1 D-1 MAP 2 C-1



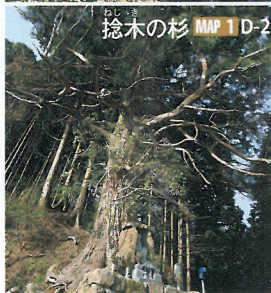
田辺扇ヶ浜海水浴場 MAP 2 D-3 MAP 3 D-1/D-2



紀州備長炭炭見館 MAP 1 D-2



田辺市立美術館 MAP 1 E-2



捻木の杉 MAP 1 D-2



闘雞神社 MAP 2 C-2 MAP 3 C-3



南方熊楠頭彰館 MAP 2 C-3 MAP 3 C-2



湛増・弁慶の像



高山寺

MAP 2 B-3 MAP 3 A-2

南 方熊楠田居から海に向か... 好の海水浴場になる扇ヶ浜は、名の通り海岸線が扇型の弧を描く美しい浜です。浜を西にたると津川河口近く、錦水城公園の一角に「田辺城水門跡」があります。明治に城郭が破壊された田辺城の面影を残す貴重な場所です。会津川を遡った高台には、真言宗の古刹「高山寺」があります。弘法大師の中興と伝わり、境内には美しい多宝塔が立っています。また、この寺の立つ台地には縄文時代早期の貝塚があり、高山寺貝塚として国の史跡になっています。田辺や紀南の文化伝統をより深く知るには、紀南の文化活動拠点として建て

勇 ましい弁慶像が迎える。JR紀伊田辺駅前からまちなか散策に出かけてみましょう。駅に近い商店街にある「蟻通神社」は地元の人から「御霊さん」と呼ばれる知恵の神様です。弁慶の父とされる熊野別当「増増ゆかりの闘雞神社」は蟻通神社から歩いて10分ほど。神社の名は、源平いずれに味方するか決めるため増増が紅白の鶏を社前で戦わせたことに由来します。また同神社は、勝負の神様としても信仰されています。弁慶ゆかりの史跡は、田辺市役所の敷地内に「弁慶松」や「弁慶産湯の井戸」、また「八坂神社」には「弁慶の腰掛石」というところかユニークな史跡もあるのです。立ち寄りましょう。闘雞神社から徒歩10分ほどのところには、世界的博物学者南方熊楠の旧居と顕彰館があります。旧居は熊楠の終の棲家で、ここから熊野の山々へたびたび粘菌採集に出かけたといわれています。

訪 ねたい景勝地もたくさんあります。目の前に広がる田辺湾には日本のナンヨナルトラスト運動発祥の地、天神崎があり、田辺の豊かな自然を象徴しています。会津川の上流の奇絶峡は紅葉と桜の名所、堂本印象画伯の原画による磨崖仏でも有名です。また、遠くから見るような奇岩が林立するひき岩群や、早春には梅の香りに包まれる百三万本と言われる紀州田辺梅林も足を伸ばしてみたいかがですか。

熊 野古道中辺路と大辺路の分岐点にあたる田辺では、市街地や郊外にもその面影が残っています。JR紀伊田辺駅から徒歩10分程度の北新町商店街には、熊野古道中辺路と大辺路を分ける「道分け石」が立ち昔を偲ばせます。左会津川のほとりにある三栖王子は藤原定家の「後鳥羽院熊野御幸記」にも登場する王子です。また、会津川を西に越えた江川地区には、潮垢離場跡があります。田辺で海岸線に別れを告げて中辺路に向かう熊野詣の人々は、ここ最後の潮垢離をとったといわれます。熊野古道中辺路の潮見峠越えコースにある捻木峠には、清姫が杉を捻じ曲げたとの伝説が残る「捻木の杉」があり、木の根元には役行者の石像が立てられています。



田辺城水門跡



JR紀伊田辺駅

MAP 1 D-2 MAP 2 C-3 MAP 3 C-3



JR紀伊田辺駅前の弁慶像

海と山の美しい風景に包まれた田辺市沿岸部は、天然の良港を擁し、牟婁の津として知られ、熊野詣が盛んになった平安時代中期から、熊野古道中辺路と大辺路の分岐点にあったことから口熊野と呼ばれ、熊野三山への宿場町、水陸交通の要衝として栄えてきました。江戸時代には、紀州藩主徳川頼宣公の執政家老安藤直次のもと、三万八千石の城下町として栄え、紀南の政治・経済・文化の中心地として発展してきました。さまざまな時代の歴史を刻む街に史跡と景勝を訪ねる旅を試みましょう。



三栖王子 MAP 1 D-2



蟻通神社 MAP 2 C-3 MAP 3 B-2



潮垢離場跡 MAP 2 C-2



八坂神社とその境内にある「弁慶の腰掛石」



MAP 2 C-3 MAP 3 C-1

まちなび音声ガイド
田辺のまちなか散策に最適なガイドがこちら。知らなければならぬ通り過ぎてしまふところでも、歴史や自然、人などにまつわる魅力的なエピソードが隠れています。まずは、田辺市街のとおきの場所を記した「まちなびマップ」(無料)を南紀田辺観光案内センターか南方熊楠頭彰館でゲット。さらに、この2か所で「音声ガイド機」(1台200円)をレンタルして街を歩きます。市内各所にある「まちなびプレート」で音声ガイド機を操作すると、地元の人やゆかりの人がとおきの解説をしてくれます。

田辺観光ボランティアガイドの会
田辺市の自然風土や歴史、文化について、ガイドブックには載っていないような楽しい話題をちりばめて案内してくれます。コースは城下町田辺の散策や田辺を起点とした熊野古道紀伊路・中辺路・大辺路などがあります。地元ならではの素朴で温かいおもてなしトークを聞きながら、楽しく散策できます。南紀田辺観光案内センターで、一人から団体までの申し込みを受け付けています。

